

書く!描く!撮る!子どもたちが作るローカルマガジン

こどもローカルマガジン
COLOMAGA project
コロマガプロジェクト 伊豆市



KURURA

Vol.8
2020

未来の伊豆をデザインする
子ども達とプロが創る情報誌

今回のテーマは

**今こそ
JIMOTOで!!**

地元

特集1

JIMOTO de
「遊ぶ!!」

特集2

JIMOTO de
「食べる!!」

特集3

JIMOTO de
「泊まる!!」



こどもローカルマガジン
COLOMAGA
コロマガプロジェクト
伊豆市 **project**

KURURAは伊豆市の子ども達と様々な分野で活躍するプロ達との
コラボレーションにより制作された地域のガイドブックです。



未来の伊豆をデザインする子ども達とプロが創る情報誌

静岡県文化プログラム地域密着プログラム事業

くら **KURURA**

2020年11月発行 発行人 KURURA 制作実行委員会 〒410-2407 静岡県伊豆市柏久保1304 1F(伊豆市若者交流施設《9izu》内)

KURURA

今回のテーマは

今こそ JIMOTO で!!

地元

特集1 JIMOTO de 「遊ぶ!!」

- 04 | 天然の釣り堀 フィッシングパークTOI
- 06 | 季多楽で豆腐づくり体験
- 07 | 伊豆の景色の中でサイクリング
鹿にも会える?自然いっぱいの八丁池

特集2 JIMOTO de 「食べる!!」

ピザだけじゃない!!

- 08 | 自転車と和のプリン The Crank
おうちで作る!
- 09 | 人気のあじ寿司弁当 舞寿し

特集3 JIMOTO de 「泊まる!!」

- 10 | 憧れの宿 UFUFU VILLAGE
- 11 | 歴史ある『おちあいろう』その魅力は
- 12 | COLOMAGA Summit コロマガサミット 0(ZERO) 開催!
- 13 | Izu City Guide Map
- 14 | 編集後記
- 15 | COLOMAGA Project の活動について



地元企業として、KURURAの活動を応援しています! うさぎ薬局修善寺店 加治亜世さん

2020.11 / vol.08

タイトル/題字 海聖・崇翔・翼・陽大
KURURA Vol.1 メンバー
伊豆市立修善寺南小学校卒業生



イラスト/ 雫羽



コロマガは「ESD」の実践活動

2013 年度に産声をあげたコロマガは、子どもたちがこの制作を通して地域に愛着や誇りを持ち「持続可能な社会を創りたい」という気持ちを育てられる実践的な活動と言えます。この「持続可能な社会の創り手を育てる教育」が ESD(Education for Sustainable Development) と呼ばれているものです。同じ頃、2015 年国連サミットで世界のリーダーが集まって 2030 年までの目標を定めました。これが SDGs(Sustainable Development Goals) といわれる 17 の目標と 169 のターゲットからなるものです。今、世界中でこの目標を達成するために産・官・民・学のあらゆる機関を上げて取り組んでいます。そしてこの SDGs を達成するためのエンジンが ESD であるといわれています。

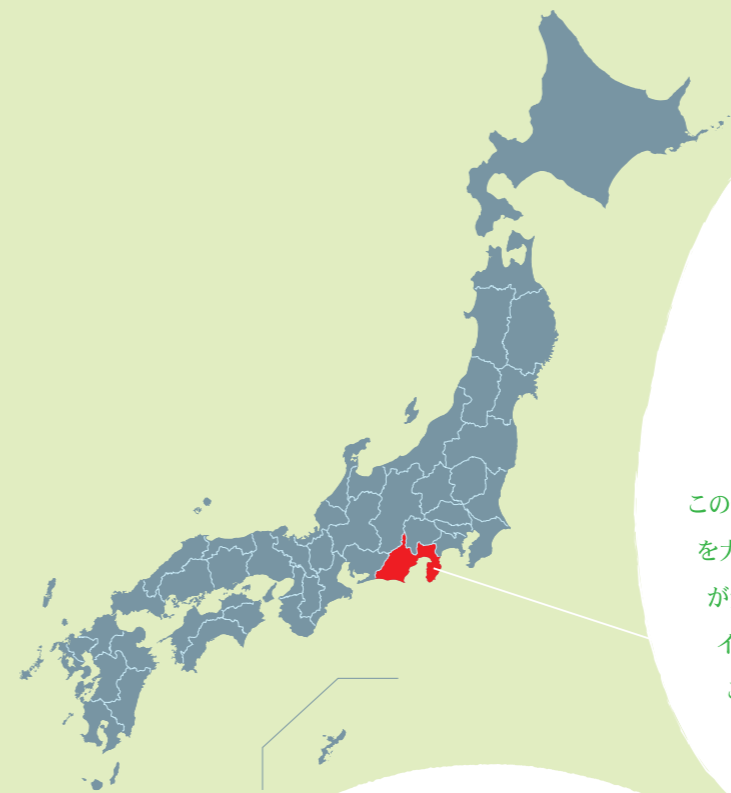
子どもたちの未来のためにみんなでコロマガの取り組みを応援してください。

ESD-J 理事 大塚明

KURURA の詳しい活動についてはこちら
www.izukurura.com



インスタやってます!
www.instagram.com/izuni_kurura



COLOMAGA 伊豆市版



「伊豆の魅力をもっと伊豆人に届けたい。」
をコンセプトに活動しています。

この冊子は、伊豆市の子どもたちが、自分たちの住んでいる町を大人たちと一緒に、調べて、聞いて、まだ地元の伊豆人たちが気づいていない伊豆の魅力をもっと伝えようと思い、クリエイターと一緒にコラボレーションで創った伊豆の情報誌です。この冊子の名前「KURURA(くるら)」は、来るよね?来るでしょ!を表す伊豆地方の言葉で、vol.1制作時の、小学5年生の男の子たちのチームが名付けてくれました。

こどもローカルマガジン COLOMAGA コロマガプロジェクト project

わたしたちは、
このコロマガプロジェクトを通して
こんな社会を実現していきたいと
思っています。

KURURAでは、一緒にローカルマガジンを作ってくれる
小学校4年生から中学3年生までの子どもで、文章を書いたり、
絵を描いたり、写真を撮ったりするのに興味がある子を
募集しています!!

一緒にやりたい子は、制作実行委員会まで連絡ください!
連絡先:izukurura@gmail.com

ふるさとの良いところを
知って自慢できる
子どもたちが増えること

ふるさどに住みたい、
ふるさどで働きたいと思う
子どもたちが増えること

ひとりでも多く
自己肯定感が高い
子どもたちが増えること

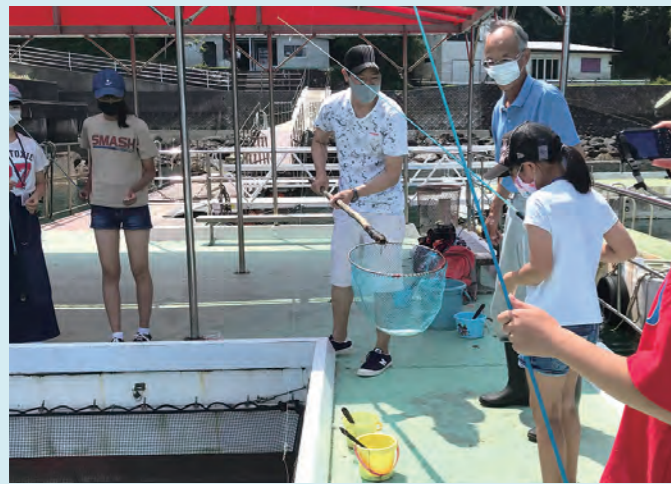
子どもたちの
創造性・独創性を
育み活かす機会が
増えること

「デザインの力」を
理解できる
子どもたちが
増えること

地域コミュニティに
関心を持つ
大人と子どもたちが
増えること

大人と子どもが
一緒に何かを創り出す
関係が増えること

こんなことが増えれば、日本の未来は
とても明るい!



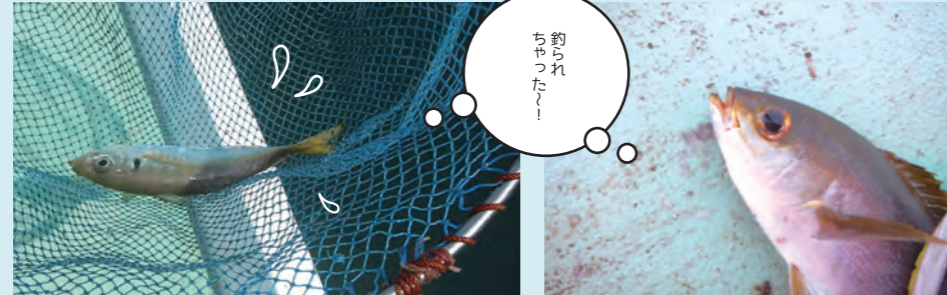
釣れました! 魚をタモですくってもらいます。



魚の影がたくさん見えるので、釣れるかな…?



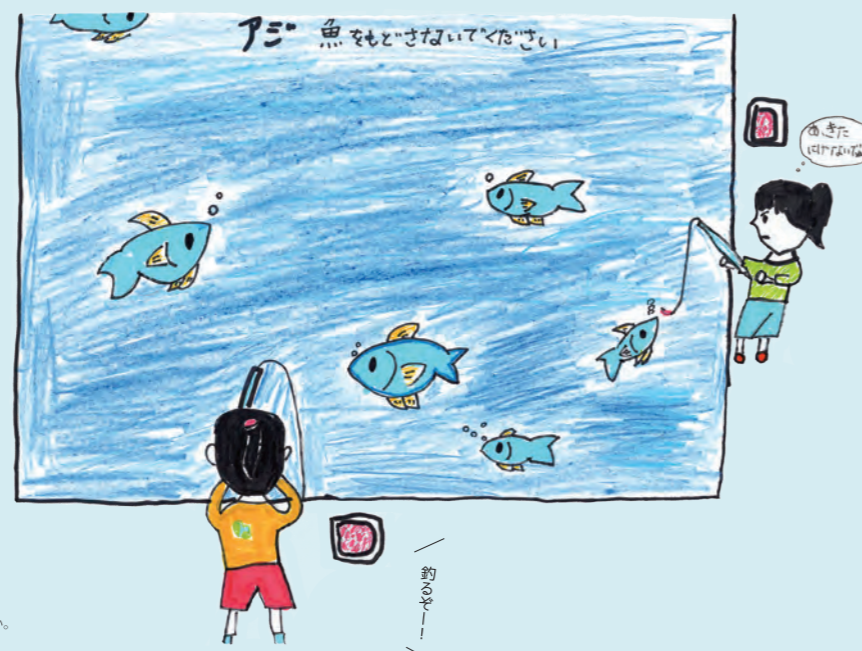
今日の釣果



今日釣ったお魚で晩ご飯。なめろうとお刺身でぜひ〜!

INFORMATION

【フィッシングパークTOI】
伊豆市八木沢 47 ☎ 0558-98-2265
営業時間 9:00~16:00 (受付 15:00 まで)
休業日 火曜日 (夏季除く)
※その他荒天・雨天の場合は休業することもあります。
料金 入場・竿・エサ代 (制限時間: 3 時間) 1 セット 1,100 円
釣り上げた魚はお買い上げいただけます。
(マダイ 1 匹: 約 2,000 円、アジ 1 匹: 約 250 円)
※当日の魚価は提示してありますので、ご予算に合わせてお楽しみください。



験があまり無いと言っていました。が、釣り堀の外で大きなクロダイを釣っていました! ちなみに、釣り堀の外で釣ると、無料で持ち帰ることができますよ。だけど、釣り堀で釣った方が確実に釣ることができると、そっちの方がオススメです!

私たちは、高校生も入れて5人で釣りをしましたが、全部でアジが14匹、イサキが1匹釣れました。釣ったイサキとアジは家に持ち帰り、私はアジの「なめろう」とイサキのお刺身にして食べました。釣ったその日に食べると、新鮮でめちゃめちゃおいしいです! 魚をさばけない...という人は、うろことワタを取って、そのまま塩焼き!とかでもおいしいと思うのでぜひやってみてください!

最初は魚にさわれなくて怖がっていた子も、最後の方には上達して魚もエサもさわれるようになっていたので、短時間でできるようになるのはすごいなと思いました。だから、最初は怖くても絶対大丈夫だと思います!

今はなかなか遠出はできないけれど、だからこそ、地元の人にも知ってもらって、来てもらえるといいなと思います。ぜひ行ってみてください!

初心者でもアジやイサキが釣れる!?

富士山を望む海にかかる一本の道、全国6番目の海上県道、223(ふじさん)号線を走る駿河湾フェリーを眺めながら、気分転換しませんか? 伊豆市でできる釣り体験。「フィッシングパークTOI」に取材に行きました!

今こそ JIMOTOで!!
JIMOTO de 「遊ぶ!!」

特集 1

今年はコロナ感染拡大防止のため、遠くに出かけられない時期があったけど、そんなときこそ! 地元で楽しめるところをご紹介します!!



文/の夏 イラスト/の夏・心春

今回取材に行ったフィッシングパークTOI(土肥)は、初心者でも簡単に釣りができる釣り堀です。取材に行ったメンバーの中で、釣り経験者は私だけでしたが、みんな3匹くらい、多い子は5匹くらい釣っていました。なのでそれを見ると、「釣りをやってみたくけど、やったことないから不安...」という方でも楽しめるのではないかな?と思いました。

フィッシングパークTOIは、40年前くらいからあり、観光客向けにつくられたそうです。ゴールデンウィークには、一年で一番多くお客さんが来るそうです。特に真ん中の日はお客さんが多いので、真ん中の日を外して来るともしかしたら空いているかも?

取材当日にも、私たちより早く横浜から来ているお客さんがいました。そのお客さんは、釣りの経





伊豆の景色の中でサイクリング

伊豆市には、オリンピック東京2020大会の自転車競技(トラック・レース、マウンテンバイク)会場があり、準備が進んでいます。市内をサイクリングする人たちも増えてきたので、私たちも体験してみよう!という事で、サイクリング体験をしてみました。

自転車は、伊豆の国市にある「コナステイ伊豆長岡」というところでレンタルし、近くの大きな公園「リバーサイドパーク」で体験をしました。まず、コナステイ伊豆長岡の方に自転車の説明を聞き、調節してもらったヘルメットをかぶり、いざサイクリングへ!

私たちが取材に行ったのは夏の暑い日でした。ですが、自転車はスピードがでるため、風を切って走って行くのはすごく快感でした。スニーカーシューズという音をたてながら走る自転車はまるで氷の上をすべっている

のかのように速く、そしてなめらかで、気持ち良かったです。やはり慣れていない道だったので、少し不安ではありましたが、ブレーキ、左右確認、ギアなどを注意しながら走ったことで、少しずつ不安はなくなってきました。そのおかげでスムーズに走る事ができました。

道路がきれいに整備されており、とても速く走れました。道路はあぶないからサイクリングは危険と思っているかもしれないけれど、道がサイクリングのために整備されているところが最近増えているので、少し考え方を変えてみて、サイクリングにチャレンジしてみても良いんじゃないでしょうか。

なかなか体験することのできないサイクリングをすることができました。もっとたくさんの人にサイクリングを経験してもらいたい、サイクリングのすばらしさを味わってほしいと思います。



文/心
イラスト/栗羽・ちひろ・心



INFORMATION
【コナステイ伊豆長岡 (コナサイクル)】
伊豆の国市古奈 307 ☎ 055-948-0055
レンタサイクル料金 /
一般 3,600 円～、宿泊者 1,800 円～
(サイクルツアーも開催しています)

特集1
JIMOTO de
「遊ぶ!!」

多楽で豆腐づくり体験

今こそ JIMOTO de !!

文/ちひろ
イラスト/心、結愛、七海



家庭料理から本格和食まで大活躍する食材、それが豆腐。伊豆市にはお豆腐作りが体験できる施設があるのです。学んできた作り方をレポートしました!!

豆腐は何からできているか知っていますか? 大豆から直接作るとおいしいですが、実は大豆から作った豆乳と、海水から食塩を結晶させた時、あとに残る苦い液体の「にがり」からできています。そんな豆腐づくり体験ができる季節多楽に行ってきました。季節多楽では地元の大豆を使って豆腐を作っています。そして豆腐だけではなく、野菜などの地元の食材や豆腐からできる卵の花などいろんなものも売っていました。

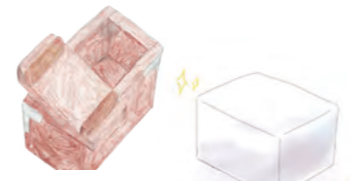
次に豆腐の作り方を紹介します。豆乳 2L を 80 度まで熱し火を止めてにがりを入れます。にがりはその前のおりにがりでありますが、豆乳に加えると甘みが出ます。その後豆腐の入れ物にうつし、木のふたをして力を入れて押ししたら完成です。押す力によって豆腐の硬さが変わってきます。私たちはけっこう上手に豆腐を作ることができました。

さてみなさんは、もめん豆腐と絹豆腐のちがいは何か知っていますか? 作り方にちがいがあって、もめん豆腐は、一度固めたものをくずしてから圧力をかけて水分をしばらく再び固めたものですが、絹豆腐は一度固めたものをそのまま固めるという違いがあります。

中伊豆にある季節多楽では地元の大豆「福豊」を使って豆腐を作っています。地元のものだけで作っているため、市販の豆腐とは味や食感が違うので楽しめます。そして作りたてをその場で食べられるので、貴重な体験ができます。季節多楽の方から「塩で食べると甘みが増す」ということを教えていただきました。私は塩で食べてみてとてもおいしかったので、みなさんも試してみてください。

季節多楽は地元でとれた野菜も安く売っているため、地元の人や観光の方たちに愛されているお店です。豆腐を作る場所は、めったにないと思います。そして季節多楽の豆腐は、豆腐がきらいな人も「好きになって帰る人が多い」と言っていました。そんな楽しい体験ができる季節多楽に行ってみてください。そしておいしい豆腐づくりをぜひ体験してみてください。

*体験は予約が必要です



INFORMATION
【季節多楽】
伊豆市柳瀬 252-1
☎ 0558-83-2636
営業時間 10:00 ~ 15:00
休業日 年末年始
豆腐づくり体験 要予約



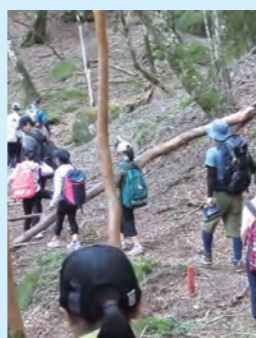
運が良かったら
会えちゃうかも...?



INFORMATION
【八丁池】
天城山の西陵、標高 1,173 m にある池。
八丁池までの登山ルートは沢山あるが、今回はコルリ歩道・寒天林道・コマドリ歩道等を通り取材。
(ガイド：天城自然ガイドクラブ杉本文雄さん)

鹿にも会える?
自然いっぱい
の八丁池

文/優歩
イラスト/心の夏・心



ガイドしてもらいながらの自然探索!

ここは、伊豆市にあるの?と思うほど広い八丁池。行く先々には、自然が沢山! クロモジ、ヒメシヤラなどの木があります。途中、鹿のフンがありました。その鹿のフンは、出したばかりのフンでした。という事は、鹿がすぐ近くにいたということですね。

八丁池に着きました。着いた時、トンボが池にいる虫を食べている所を偶然見ました。八丁池は、自然が沢山です。

八丁池に着いたら一番に見てほしい所があります。それは、天皇陛下が訪れたところです。そこには、記念の石碑が建っています。

八丁池は、冬になると池が凍ります。昔は、そこでスケートができたそうです。私も滑ってみました。自然が好き人はもちろん、山登りが苦手な人でも楽しめる場所なので、クロモジやヒメシヤラなどの木を探しに一度行ってみてください。



【舞寿し】
伊豆市柏久保 625-6 (修善寺駅構内に売店あり)
☎ 0558-72-2416
営業時間 9:00 - 16:00
定休日 水曜日



おうちで作る！ 人気の あじ寿司弁当 舞寿し

文 / 璃紗 イラスト / 美翠・璃紗



(※) 本誌発行時にはインターネット販売がはじまります。

武士のあじ寿司

今回、私たちが行ったのは修善寺駅の目の前にある「駅弁カフェたけし」さんです。
テレビや雑誌、新聞でも時々紹介されている有名なお店「舞寿し」のお弁当を、修善寺駅改札の横にある売店で買って、ここで食べられるお店です。
舞寿しの人気商品は「武士のあじ寿司弁当」です。そんな人気店もコロナウイルス感染拡大の影響

でお客さんが減ってしまったそうです。
そこで店主の武士東勢さんは家でも旅気分が味わえるようにと、家庭でも作れるあじ寿司を考えたと、そうなんです。
あじの切り身・すし酢、ごま、桜葉、がり、レモン、しょうが、生わさび・わさびのすり器、かつおぶし、修善寺しょうゆをセットにして届けるようにしようと思っ



わさび弁も作ってみてください！
①ごはん全体にすし酢をまくように入れて、切るようにごはんをまぜます。
②ごまをごはん全体にまくように入れて切るようにまぜたら、うつわや大きなお皿に入れます。ごはんをふんわりとなるべく平らにしてぎゅうぎゅうにしないように入れます。
③桜葉を一枚のせます。
④あじをごはんが見えなくなるくらいにのせて、その上にしょうが、がり・レモン・すりおろした生わさびをのせて出来上がりです。
作った感想は「家で用意するものも少なくても美味しく作れる！」と思いました。一度食べたことがある人も家で作ってみてほしいと思いました。
あまった生わさびとかつおぶしでわさび弁も作ってみてください！



ピザだけじゃない！ 自転車と 和のプリン

修善寺駅のすぐ近くにあるお店、The Crankと、駅弁カフェたけし。

The Crankにはオリンピックとの関連と、新商品の修善寺プリンについてのお話を聞きに行きました。駅弁カフェたけしには、ファンへの想いから生まれた「通販のあじ寿司作り」体験に行ってきました!!



【The Crank】
伊豆市柏久保 550-1 エムズ修善寺ビル1階
☎ 0558-79-3679
営業時間 ランチ 11:30 - 15:00(L.O.14:30)
ディナー 17:30 - 23:00(L.O.22:00)
定休日 水曜日 第2・4木曜日(祝日除く)

「すっごいオシャレ!」
そう声が出てしまうお店。The Crankさんです! 田舎とは思えない店内におどろきをかくせませんでした。そんなクランクさんのおどろきがかくせなくなるお話を紹介いたします。
クランクさんはサイクリストに優しいイタリアンのお店で、サイクリストの方達が使うための自転車をかけるフックがあります。また、自転車のかし出しもしてるそうです! サイクリストさんがうれしくなる優しさがあります。そして、なんと海外のオリンピック出場候補者の選手もたくさん訪れてく



そうです! お店にオランダの選手の三人のサイン入りTシャツが、かざられていました。オリンピック出場候補者からも愛されるクランクさん。とてもおどろきました!
そんなこともあるので、店長の岩田さんはオリンピック延期を残念だと言っていました。このご時世なので仕方ないのですが、クランクさんに本当なら今頃来ていた選手さん達もすごく残念だと思います。
クランクさんのコロナ対策も聞いてきました。店内にも自転車をもつてこられるよう、元から席は少なく、通路も充分あいていますが、さらに席を少なく。通路もできるだけ広くし、ソーシャルディスタンスを保てるようになっていきます。マスクを常時着用などはもちろん、コロナ対策はバッチリです! 他にもテイクアウトも行っているの、ぜひお家でおいしいピザを楽しんでください!
さて、少しコロナからはなれて、クランクさんのおすすめ商品を紹介いたします!
「ピザだけじゃない、クランクの修善寺プリン!」
クランクさんの新商品デザート、



文 / 千伶 イラスト / 七海

「修善寺プリン」は、黒みつか、カラメルが選べて、竹の器! なんと修善寺らしい和テイストのプリンです。でも、なんでイタリアンなのに和? 私たちの疑問が生まれました。それには岩田さんの思いがありました。
「修善寺の魅力を発信したい」
岩田さんの修善寺愛から生まれたプリンでした。私も今度プリンを食べに訪れたいと思います。

最後に、岩田さんは、コロナが終わったらこんな事したいと言っていました。
「クランクのお客さんとサイクリングですてきな景色を見に行き、クランクでご飯を食べたいです」
すてきだと思いませんか? すごく楽しそうですね! みなさんもぜひサイクリングの途中に寄ってみてください! オススメルートも聞けますよ!

豊かな自然に囲まれた天城湯ヶ島に、とてもすてきな宿があります。それが『おちあいろう』です。創業1874年(明治7年)のこの宿は、明治、大正、昭和、平成、令和と、5つの時代を重ねた歴史があります。国の有形文化財にも登録されています。名前の由来として、旧幕臣の山岡鉄舟により、2本の川(本谷川と猫越川)が合流するところにあることから名付けられました。今、私が小学校で勉強している有名な文人にも、愛された宿です。明治時代には、島崎藤村、昭和初期には、北原白秋などがいます。

取材当日、玄関まで続く石だたみの奥で、はかま姿の社長さんが、優しく笑って待っていてくれました。取材では、大広間や外に広がる自然の景色を見せてもらいました。山々の緑と川の深い青がとてもきれいでした。泊まりに来たお客さんも、この風景にいやされると思います。マイナスイオンもいっぱいいます。

社長さんに、いくつか質問をしました。コロナの影響はとて大きいそうです。対策として、スタッフも毎日の検温やマスクの着用をしたりいろいろな所を消毒したりしています。お客さまに検温をお願いすることをさけるために、サーモカメラで体温を確認しているそうです。工夫をされている気持ちに、お客さまも自分で消毒や手洗いを心がけると、良いなと思いました。

働く上で大切にしていることは、誠実に働くこと。お客さまがこまらなように、観察している中で想像してサービスをするのだそうです。

オリンピックに向けての取り組みは、去年の9月に、玄関の石だたみや大浴場をリニューアルしました。石だたみは、とてもピカピカしていました。外国人スタッフが4名もいるそうです。これで、言葉のちがいが心配いりません。古い建物だからこそ、台風の時の修理もいたちこっこだそうです。

くり返す災害にも負けず、スタッフの手で大切に守っていることがわかりました。GOTOキャンペーンでは、高い客室からうまっていくそうです。みなさんもぜひこの機会に自然が身近に感じられるすてきな『おちあいろう』へ泊まりに来てください。お待ちしています。



素敵なお部屋は、職人さんの技があふれ、ていねいにお手入れされています



広い広いお部屋にびっくり!



建物も景色も最高です

お話を聞かせてくださり、ありがとうございました!



歴史ある『おちあいろう』 その魅力は

文/美翠
イラスト/美翠・雫羽

特集
3

JIMOTO de 「泊まる!!」

今こそ JIMOTOで!!



温泉地としても有名な伊豆には、たくさんステキな旅館があります。今回はその中でも新たな魅力が詰まった場所を紹介します。そこには大人になったらいつか泊まりたい!と思うような癒しの時間が流れていました。



テントの中は、エアコンやベッドもそろっていて快適~!



大人になったら泊まりたい!

憧れの宿 UFUFU VILLAGE

文/朱哩
イラスト/朱哩・明音・海音



安心のトレーラーは、ホテルの様!



ドームテントの大きな窓は開放感ばつぐん!



みなさんコロナの影響で遊びに行けず、たいていお休みのままです。じつは、そんなコロナウイルス感染防止をしながらも自然を満喫できる体験がここ伊豆にあるんですよ。

それは、『UFUFU VILLAGE』というグランピング施設です。今、人気のグランピングとは、英語で「魅力的」などを意味する「Glamorous」と「Camping」を組み合わせた言葉です。

グランピング施設では、キャンプ用品や食材や食事などが用意されているため、キャンプをしたことがない人でも豪華なキャンプを楽しむことができます。

テントの中には、ふかふかなベッドとクローラーやストーブなどがあり快適にすごすことができます。またお部屋には大きな窓があつて、

まるで外にいるような感覚になりました。

家族で来ている方は、施設の中の、すべり台やブランコがある公園であそぶことができます。

またベッドをつれて来た方は、ドッグランやペット用の水遊び場でのんびり時間をすごせます。

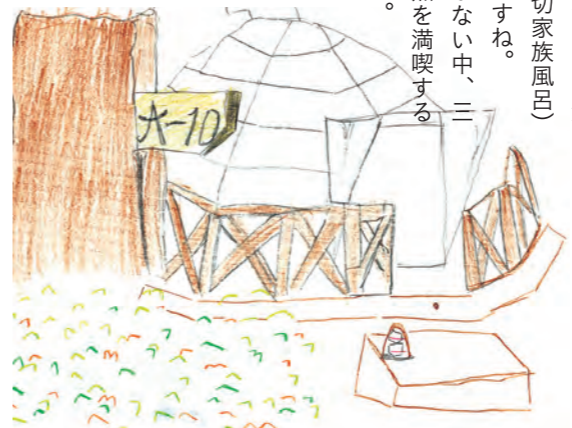
そしてみんなで遊んでかいた汗を、温泉(大浴場・貸切家族風呂)で洗い流すのもいいですね。

遊びに行ける機会がない中、三密をさけながら大自然を満喫するのはいかがでしょうか。

INFORMATION

—

【UFUFU VILLAGE】
伊豆市月ヶ瀬 425-1
TEL: 0558-75-8000
お問合せ: 10:00~17:00



ヴィレッジ内にドッグランや菜園も!



すてきな石だたみと立派な門をくぐった先には...



INFORMATION

—

【おちあいろう】
伊豆市湯ヶ島 1887-1
TEL: 0558-85-0014



黄色いのれん!旅館の玄関です。

おちあいろう

Izu City Guide Map

伊豆市ガイドマップ

伊豆市

標高1,000メートルを超える天城山から伊豆で一番大きな川、狩野川が流れ修善寺・中伊豆・天城・土肥のすべての地域で温泉が湧き西は駿河湾にも面している私たちのまち、伊豆市



地図製作者
千伶

1 フィッシングパーク TOI
P4
伊豆市八木沢 47
TEL : 0558-98-2265

2 季多楽
P6
伊豆市柳瀬 252-1
TEL : 0558-83-2636

3 自転車レンタル
コナステイ伊豆長岡 (コナサイクル)
P7
伊豆の国市古奈 307
TEL : 055-948-0055

4 八丁池
P7
天城山の西陵、標高 1,173mにある池。

5 The Crank
P8
伊豆市柏久保 550-1 エムズ修善寺ビル1階
Tel: 0558-79-3679

6 舞寿し
P9
伊豆市柏久保 625-6 (修善寺駅構内に売店あり)
TEL : 0558-72-2416

7 UFUFU VILLAGE
P10
伊豆市月ヶ瀬 425-1
TEL : 0558-75-8000

8 おちあいろう
P11
伊豆市湯ヶ島 1887-1
TEL : 0558-85-0014



こどもローカルマガジン COLOMAGA Summit ZERO 開催!



司会進行は子ども編集部の高校生・中学生

企画は大学生のコネクトチーム

「KURURA」から始まった「こどもローカルマガジン COLOMAGA Project」。今や東京都文京区版「MITAMIYO!!」、山梨県北杜市版「水の山こども情報局」、伊豆の国市版「izucco」、沼津市内浦西浦版「うらっち」、の5地域で実施されています。そこで、初めての企画として、各地域のこどもや大人のスタッフ、クリエイターの方々が参加して「コロマガサミット0 (ゼロ)」を開催しました。

各地域メンバーのZoomで参加した子たちや、実際に足を運んでくれた子たちと大人も混ざって、5つの冊子の活動報告やゲームなどで交流しました。大学生のKURURAコネクトチームが企画してくれた「地域のイメージクイズ」、各冊子を読み込んで解くクロスワードや、「ワードウルフ」というゲームを行いました。ワードウルフでは、自分が「人狼」なのかと思いきや話をあわせたり、クロスワードは、最後の1個がわからず悩んだりしました。各地域の子と交流して仲良くなれたし、他の地域のことが分かって色々びっくりしました。おもしろかったです。

そして2日目は、「うらっち」のフィールドである沼津市の「らららサンビーチ」近くで磯遊びが行われました。ヤドカリやカニなど磯にいる生き物を発見しました。初めて磯遊びをし

に来た子どもも気軽に遊ぶことができていました。生き物を発見して、楽しかったです。

他の地域の子と仲良くなれたし、それぞれの魅力を発見することができました。どの子どもも楽しんでいて、開催できて良かったです。コロナのせいで今年は活動できない地域があったり「集まる」ことが難しかったりして、考えていたこと全部はできなかったの、「ゼロ回目」という意味で「サミットゼロ」としました。いつか「1回目」ができれば、と思います。

文 / 萌花



大人の方が盛り上がりしていました!

2日目は沼津の西浦で磯遊び

会場に来れなかった子どもオンラインでつないで参加しました。

Column

私が修善寺に「うさぎ薬局」を構えてから、早いもので11年となりました。地域の皆さんのためと熱い思いを込めた店舗ではありましたが、オープン当初は調剤薬局が行う地域活動がまだまだ知られていない時代で一人で始めた地域活動も、なぜ薬局の人がこんなことをしているの?と不思議な目で見られていたことを覚えています。

今後のKURURAの活動継続のためにも、私たち地元の企業が伊豆市を愛し、伊豆市を思っている若者たちをサポートできるような体制作りを業種を越えた地域活動を展開していく中で構築していきたいと思っています。

活動を応援しています!

新型コロナウイルス対策
無料出張講座実施中!!



うさぎ薬局修善寺店薬局長
加治世世さん

東京都世田谷区から伊豆市へ10年前に移住。
KURURAのための募金活動継続中!!

こどもたちの創造性を育てて 地域をつなげる活動です。

創造力は生きる力。

楽しんで創ったものは社会のためになり、
 地域のつながりを強くします。

「COLOMAGA Project(コロマガプロジェクト)」は、こどもたちが自分の住む「まち」取材し、プロのクリエイターと一緒に「まち」のローカルマガジン(地域情報誌)を作るプロジェクトです。現在、東京都、静岡県、山梨県の3県5エリアの地域が参画しており、地域を超えた交流も行っています。

自分たちが住んでいる「まち」を知るためにまず、自分が興味のある人や場へ出向いて、知りたいことを取材します。つぎに、その情報を自分らしく発信するために、プロのクリエイターからノウハウを教わりながら、写真を撮ったり、イラストを描いたり、文章を書いたりしてカタチにしていきます。最後に、みんなの集めた「まち」の情報を1つの冊子にまとめることで、「COLOMAGA」が完成します。

こどもたちが世代を超えて出会う人々と交わすコミュニケーションは、かけがえのない思い出や体験となります。「まち」の魅力を知れば知るほど、自分の「まち」が好きになり、自分の居場所になっていく。「まち」のために何ができようかと考える人が一人でも多く育って欲しい。「COLOMAGA Project」はそんな想いで活動しています。



その他の地域の COLOMAGA project



SDGs ESD-J KIDS DESIGN AWARD

わたしたちの活動は、SDGs(持続可能な開発のための2030アジェンダ)の17のゴールのうち「No.4-質の高い教育をみんなに」「No.11-住み続けられるまちづくりを」を実現するための実践者として、ESD-J(持続可能な開発のための教育)の「未来を変える人づくり」活動として高く評価されています。その活動が認められ、2018年、経済産業省が制定した「キッズデザイン賞・子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門」において受賞することができました。SDGs、キッズデザイン賞と広く社会に認められた活動を通して、未来を担う子どもたちの育成と地域づくりに貢献できればと思います。



「この活動いいね」と思ってもらえたら、ぜひ応援をお願いします！

この活動は有志による非営利事業です。継続のために、活動資金のご支援をお願いします。

【法人の方へ】
 この活動はSDGsの一環であり、企業のCSRにもつながるこの活動との協同事業や支援をお願いします。

【個人の方へ】
 自分のくらす「まち」を好きになり、故郷を自慢できる子どもたちを応援するこの活動の応援をお願いします。

ご寄付の振込先

静岡銀行 修善寺支店 普通口座 0446730
 口座名義：KURURA制作実行委員会
 連絡先: izukurura@gmail.com

お振込みの場合はお名前と連絡先をメール等でお知らせください

※応援特典

- ・冊子とホームページにお名前を掲載します(ご希望の方)
- ・子どもたちからお礼の手紙をお送りします
- ・冊子の完成発表会にご招待します

KURURAのOBに講演の機会を！

活動に参加した時には、小学生だった子どもたちは、今は高校生・大学生になり、それぞれの分野で活動を続けています。そんな彼らの自分の中の変化や地域に対する思い、活動への想いをみなさまの前で話す機会をいただければ嬉しいです。

COLOMAGApjの活動をご自分の「まち」でも。全国あちこちの「まち」でこの活動ができたら素敵だと思っています。やってみたい!という方は、COLOMAGA事務局から企画・告知・集客・取材・制作・デザイン等についてノウハウを提供し、サポートいたします。お気軽にご相談ください。

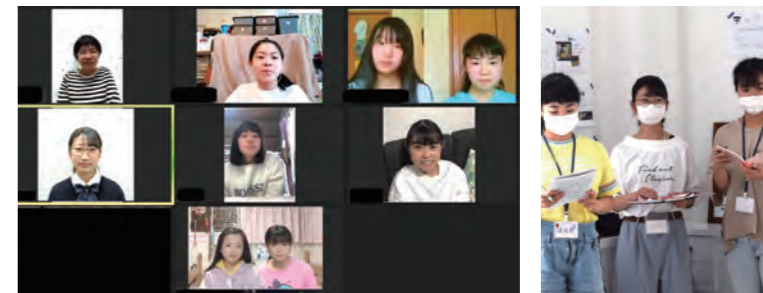
編集後記

子ども編集部

取材交渉、同伴、講座の進行、インスタ投稿など中学生と高校生合わせて9人で活動しました。なかなか集まらない状況の中で、今年は初めてzoomで会議を行いました。例年通りにはいかないこともありましたが、今年も発行することができとても嬉しく思います。より一層周りの方々の支えの大きさを感じた1年でした。これからも力を合わせて活動を続け、より多くの方々に伊豆の魅力をお届けしたいです。

〈メンバー〉

坂ノ上こはく(編集長)・新田愛琳(副編集長)・大石桜子(副編集長)
 鈴木みお・山口夕風・熊川彩花・鈴木ちひろ・熊川萌花・高橋の夏



コネクトチーム

子ども編集部を経験したメンバーの「大学生になっても活動に参加したい」という想いから今年新たに発足しました！子ども編集部と実行委員会をつなぐ「コネクトする」と共に、参加する子ども達にとって大人よりも身近な存在として活動をサポートする役割を担っています。リモートで会議を重ね、誌面の構成を考えたり、コロマガサミットの企画・運営を行ったりもしました。活動を続けることで、KURURAや COLOMAGA Projectをもっと広めていきたいいな、と思っています。

〈メンバー〉

内田陽仁・大矢彩加・小林舞・高橋こなつ・安池凜



KURURA 制作実行委員会

代表



Special Thanks

クリエイティブワークショップ講師

取材講座：元伊豆日新聞記者 小川勝之さん
 ライティング講座：ライター 有川美紀子さん
 写真講座：フォトグラファー 武智一雄さん
 イラスト講座：デザイナー 浅井由剛さん

制作：KURURA 制作実行委員会
 特定非営利活動法人NPOサブライズ
 こども未来塾
 クリエイターチームカラフル

協力：杉本文雄(天城自然ガイドクラブ)・波多野康隆・古藤田博澄
 内田幸利・田足井美帆・鈴木奈仁子・根岸涼子・西島基弘(株式会社アーティストックス)・うさぎ薬局修善寺店・ホテルラフォーレ修善寺
 The Crank・FM IS・自然療法サロンミモザ・いさぶや印刷工業株式会社
 平沢マリセンター・マリンステーションマーボウ・伊豆海遊び Labo.
 COLOMAGApj 各地域版 ※順不同・敬称略

デザイン：株式会社カラーコード【浅井由剛・黒澤夏子・為社京子】

サポーター：【ご寄付いただいたみなさま】
 波多野康隆・滝尻わさび園・株式会社アーティストックス・館正代
 四日市西倫理法人会・長谷川英一・日景知子・野田三千代
 伊豆日新聞
 外貨募金にご協力くださったみなさま
 ※順不同・敬称略 2019年12月4日～2020年11月20日

イラスト：【表紙】結愛 【裏表紙】海音
 後援：伊豆市、伊豆市教育委員会
 ESD-J(NPO 法人持続可能な開発のための教育推進会議)
 問い合わせ：KURURA 制作実行委員会事務局
 〒410-2407
 静岡県伊豆市柏久保 1304 1F 伊豆市若者交流施設 9izu 内
 TEL 0558-99-9120

こくみん共済 coop 地域貢献助成事業
 静岡県文化プログラム地域密着プログラム事業

静岡県文化プログラム
 静岡県文化プログラム推進委員会は、「地域とアートが共鳴する」をテーマに、オリンピック憲章で定められた文化プログラムを進めています。文化・芸術による地域活動の振興を目指し、様々な団体等との協働による多彩なプログラムに取り組みます。